

特集

REPORT

## コロナ禍で どう変わった？ 奨学生生活動

4 いがくせいだより

5 けんしゅうエッセー

3 高校生・受験生のみなさんへ  
「未来の医師を応援」

2 合格HISTORY

1 なにわの  
医療道場

私たちは  
おおさか民医連  
Osaka Min-iren



大阪民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。2018年、連合会設立65周年を迎えました。現在、4つの病院、49の診療所、7つの歯科診療所、32の訪問看護ステーション、35の保険薬局、2つの老健施設、薬剤・診療材料センター、看護専門学校、検査センター、在宅看護支援センターそして社会医学研究所が、大阪民医連に加盟しています（2022年3月現在）。病院・診療所での実習を、随時受け入れています。

※医学生センターは、阿倍野医学生センター（公立大近辺）、枚方医学生センター（関西医科大学近辺）、狭山医学生センター（近大近辺）の3つです。

奨学金  
制度

大阪民医連では、いつでも、どこでも、だれもが安心してよい医療を提供できる医療機関を目指しています。私たちの医療活動に共感し、ともに働く意思のある方を対象に奨学金を貸与しています。

●対象学年と奨学金（月額）

Aコース	1~2年生 50,000円	3~4年生 60,000円	5~6年生 70,000円
Bコース	全学年 100,000円		

他の奨学金と併用できます。詳しくはお問い合わせください

大阪民医連の病院紹介（詳細は各病院のHPをご覧ください）

臨床研修  
指定病院



耳原総合病院（病床数 386床）

- 大阪府堺市堺区協和町4丁465 TEL.072-241-0501代
- 南海高野線堺東駅よりバス10分

臨床研修  
指定病院



西淀病院（病床数 218床）

- 大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL.06-6472-1141
- JR東西線御幣島駅徒歩5分



東大阪生協病院（病床数 99床）

- 東大阪市長瀬町1-7-7 TEL.06-6727-3131
- 近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分



コープおおさか病院（病床数 166床）

- 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-22 TEL.06-6914-1100
- 地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分

大阪民医連 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階  
TEL. 06-6268-3970

(大阪民主医療機関連合会) <http://www.oskmin-igakusei.com/> 医学生・研修医ドットコム 検索



facebook

twitter

医学生・研修医.com

特集  
REPORT



# コロナ禍で どう変わった？ 奨学生生活動

2020年にコロナ禍となり、もうすぐ2年半が経とうとしています。多くの大学生・医学生との活動と同様に、大阪民医連の奨学生生活動はCOVID-19の流行と感染対策の影響を大きく受けました。手探りの部分も大きかったものの、これまでにない新たな奨学生生活動のあり方を見出す大きな転機でもありました。Medi-Wingおおさか78号ではコロナ禍で奨学生の活動がどう変わったか、2年間で振り返りながら紹介します。

- 01 コロナ禍の2年間の奨学生生活動振り返り
- 02 学びへの姿勢の変化
- 03 オンラインで医学生選挙しゃべり場

## 民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめる、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめる、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日  
全日本民主医療機関連合会

私たちは民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です。戦後、医療に恵まれない人々と医療従事者が手をたずさえて各地で民主診療所が作られました。そして、1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を立ち上げました。それから60年余り、なによりも地域の人たちの思いを大切に、地域に求められる医療を行ってききました。最も困難な人たちの立場に立って、寄り添う。設立以来一貫して、無差別・平等の理念を掲げる私たちの病院は、差額ベッド代を(※1)頂いていません。また、無料低額診療にも(※2)取り組んでいます。これは、「お金のあななしで医療に差別があつてはならない」という私たちの考えによるものです。

※1：医療保険外の実費負担費用。病院によって金額は異なる ※2：低所得者などに無料または低額な料金で行う診療

# はじめまして民医連です

### 民医連の組織現勢

全日本民医連加盟事業所数	(2022.1現在)
病院	142
有床診療所	12
無床診療所	474
歯科診療所	78
訪問看護ステーション	234
保険薬局	349
薬剤・診療材料センター	33
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	51
介護医療院	1
在宅介護支援センター	24
特別養護老人ホーム	37
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパーステーション	51
グループホーム	21
在宅介護福祉関係	212
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,758

### 主な医療団体との比較

職員数		1日平均の入院患者数	
民医連	83,618 (2021.10.1)	民医連	21,329 (2020年度)
日赤	67,556 (2021.3.31)	日赤	約23,000 (2020年度)
厚生連	55,849 (2021.3.31)	厚生連	約23,410 (2021.3.31)
済生会	64,000 (2020.3.31)	済生会	約16,930 (2020.3.31)
1日平均の外来患者数		病院数	
民医連	55,417 (2020年度)	民医連	142 (2021.3.31)
日赤	約60,000 (2020年度)	日赤	91 (2021.3.31)
厚生連	約61,000 (2021.3.31)	厚生連	105 (2021.3.31)
済生会	約35,900 (2020.3.31)	済生会	81 (2020.3.31)
訪問看護ステーション数		病床総数	
民医連	234 (2022.1.31)	民医連	24,902 (2020年度)
日赤	46 (2016.3.31)	日赤	35,219 (2021.3.31)
厚生連	97 (2021.3.31)	厚生連	32,920 (2020.3.31)
済生会	52 (2022.1.31)	済生会	22,244 (2020.3.31)
診療所数		(調査日)	
民医連	484 (2021.3.31)		
日赤 (健康管理センター2を含む)	5 (2021.3.31)		
厚生連	60 (2020.3.31)		
済生会	18 (2022.1.31)		

## コロナ禍の2年間の 奨学生活動振り返り



関西医科大学6年 緒方 隼 (三國丘高校出身)

### 奨学生活動の新たな在り方

20年度はCOVID-19がまだまだ未知の感染症であったため、従来通りのフィールドワークや対面での学習会がほとんどできない中で、新たな奨学生活動のあり方を模索する年だったといえるでしょう。これまでの奨学生活動は数ヶ月に1回集まって合宿形式での勉強会という形式が主なものでしたが、大阪民医連の奨学生は他県の大学に在籍する学生が多く、感染対策上対面で集まるのが難しくなりました。そこでオンライン会議システムを使いつつ、文献の購読・発表を複数チームで実施しました。具体的には月1回各チームが興味あるテーマについて発表し、意見を交流するゼミナール形式を取り入れました。テーマは多岐に渡り、「医療財政」「安楽死」「気候変動と熱中症」「HIV/AIDS」「女性の貧困」「医師の働きかた」「2025年問題」など、深める意義の大きいものばかりでした。新たな形式での奨学生ミーティングを通して、奨学生からは「あまり興味がなかった分野でも興味を持てることが出来た」「自分達が調べたテーマをより深く調べる機会になった」という声が多く上がりました。また、オンライン開催によって他県に住んでいる学生も気軽に参加することが可能になりました。

21年度は感染拡大によって医療現場の負担が大きくなった一方、

フィードバックを受ける新たな奨学生活動は、必然的に能動的な要素を含むものです。コロナ禍により既存の形式が不可能になったことが、奨学生活動を一種の自主ゼミ活動として再出発させる機会になったといえるでしょう。ただし、新たな奨学生活動が様々な限界をもったものであることも指摘しておかねばなりません。まず、このような形式の学習会のあり方が体系化されていないた

## 学びへの姿勢の変化



山口大学3年 大杉萌々花 (四天王寺高校出身)

2年間の奨学生生活を通じて、さまざまな学習会や、病院実習などに参加させて頂きました。この場をお借りして、自分自身の変化について振り返っていききたいと思います。

最初に学習会についてです。この学習会では臨床の現場で働く医師や看護師、保健師さらには医療関係以外の職種の方々の話を聞くことができました。学習会では話を聞くだけでなく、他大学の参加者とスモールグループに分かれてディスカッションする時間も設けられていました。ディスカッションには他の奨学生の先輩方も参加されているので、知識に富んだ意見をたくさん聞くことが出来ました。このような経験を通じて、先輩方のように幅広い知見を持つために、他の方の意見を聞いたり積極的に学習会に参加したりしようと思うようになりました。

様々な知見が集積され始め予防策や治療方法が見出されていった1年だったと思います。このような情勢の下、まだ対面での学習会を実施できる条件は出揃わなかったために、21年度は前年の形式を引き継ぎつつ「コロナ禍における社会的影響」を軸として様々なテーマを複数人のチームごとの興味関心に沿って探求しました。新型コロナ感染症の対策を多角的に検討するテーマとして「ワクチンと感染予防策」「世界と日本の比較——成功と失敗、保健所体制について」、社会・経済的な影響を検討した「コロナ禍での精神的影響——現場医師のインタビューから」「経済的影響」、医学生・医療現場に与えた影響を調査した「学生アンケート調査」「職員アンケート調査」です。それぞれの発表内容について、手短ですが20年度・21年度のどちらも年度のまとめとしてオンライン開催となった大阪民医連学術運動交流集会(2月)で発表しました。

### 受動的学びから、能動的学びへの転換点

振り返ってみれば、コロナ禍以前の奨学生活動は用意されたものに参加する形式が多く、知識の吸収にとどまるという限界があったように思われます。それに対して、学生それぞれが自らテーマを選んで文献やデータを調べ、まとめて発表し他の参加者から

め、学習の進め方は手探りにならざるを得ません。文献やデータの分析が中心になり、現場の意見・経験を踏まえた実践的な感覚が得にくいという課題もあります。このような限界はあるものの、奨学生活動が広い視野を持った医師、目の前の患者さんの背景に広がる複雑な人のあり方や社会制度まで多面的に分析できる医師となるための一つの足がかりになるものと信じています。

次に病院実習についてです。春休みや夏休みなどの長期休みを利用して病院実習に参加する機会があり、外来や往診の様子を見学しました。その中でも患者さんの病気や生活の背景には想像もできないような問題があるということを知り非常に驚きました。見学でつかせて頂いた先生方は、そのような背景を診察時の日常会話を通じて情報収集されているようでした。その際、「背景を知ることでも求められている医療や困っていることに気づくことができる。だから何気ない会話が案外重要になってくる。」と教えて頂きました。医師としてだけでなく、人生の先輩として吸収すべきことがたくさんあると感じました。

最後に、この執筆を機に自分にとって興味のある分野はなにか、また、将来どのような医師になりたいのか立ち止まって考え直す

機会になったと思います。この春から3年生になり、まだまだ学生生活が続きます。学生生活の間に成長できる部分がたくさんある

と思うので、より一層向上していきたいです。

# オンラインで 医学生選挙しゃべり場



徳島大学医学部2年 奥川佳依 (明星高校出身)

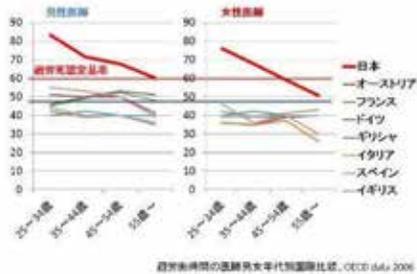
昨年、10月31日の衆議院選挙に向けた「医学生選挙しゃべり場」に参加しました。この会では、先輩医学生から選挙について学びました。

領があり、それを読んだことです。しかし、ただそれを字面通りに読んで納得するだけでなく、それがどういう意味かを立ち止まって考えることが大切であることを学びました。一度読んだだけでは意味を捉えることができない項目、もっと深く知りたいと思ったことをしっかり考えることで、よりその党についての理解が深まりました。これは、各立候補者が掲げる政策に関しても同じことが言えると思います。

今回この会に参加したのは、投票する際にちゃんと考えた上で、自分自身が納得する形で投票したいと思ったからです。この選挙は有権者としては、2019年7月の参議院選挙以来、2回目の選挙でした。1回目の選挙当時は、受験勉強などでバタバタしていた時期であったため、ちゃんと考えずにその場の思い付きで投票してしまいました。自分にとって2回目、そして成人を迎えて初の選挙では、投票する以上、前々からしっかり考えて投票したいと強く思っていました。しかし、何を基準に投票するかがわからなかったため、それを学ぶために参加しようと思いました。

このしゃべり場をきっかけに、自分の投票する地域の立候補者についてさらに調べ、時にはテレビニュースにも耳を傾け、候補者に関する情報を集めました。そして最終的には、結果はどれだけ、自分の納得する形で投票することができました。この会でモチベーションとしての役割も果たしてくれた、非常に有意義な時間でした。

## Min-iren Board



- ・日本の医師の労働時間は各国の中でも圧倒的
- ・男性医師に至っては、どの年代でも半数以上が過労死認定基準以上の労働を行っている
- ・担当患者の多さが要因の一つなのか

大阪公立大の奨学生が医師数や医師の働きかたを国際比較を行った

セミ形式で行ったオンライン勉強会

### 女性は家庭を守る考えが未だに根強い？

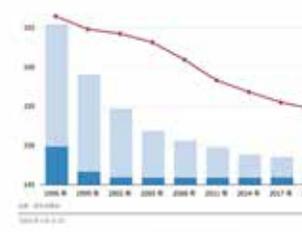


滋賀医科大学の奨学生が女性の貧困に問題意識を持ち、発表した

奨学生募集ポスター



### 病床はこれまで大幅削減されてきた



琉球大の奨学生がコロナ対策を考察し、日本の医療体制の変遷を調査



長 哲太郎

Tetsutaro Cho  
(清風南海高校出身)

(ファミリークリニックなごみ 所長)

PROFILE：堺市出身。2009年に長崎大学医学部卒業。西淀病院、耳原総合病院、コープおおさか病院、東大阪生協病院などで初期研修・後期研修を行う。2014年から北海道家庭医療学センターでフェローとして勤務。2017年よりファミリークリニックなごみ所長、現在に至る。

# 医学生時代の たからもの

最近、鏡を見ると白髪が目につくようになりまし。電子カルテを離れて、発熱患者さんの待つ診察室に行くと、目の前の患者さんの名前が出てこないようになりまし。『年齢を感じる』が増えてきました。振り返ると、長崎大学医学部に入学したのが2003年と、もう20年近く前の話であるのだと愕然としています。

今回は、「医学生時代の自主的活動」というテーマを頂きまして、私の過去した医学生時代を振り返りたいと思います。今の医療系学生の方々を取り巻く環境と大きく異なる部分はあると思います。前の人はこんな



## ● 大学内の 学習環境の改善に 取り組む

当時医学部でサブイブしていくために必要なスキルは「皆と同じ試験勉強をする、決して浮かない」だったと思います。すでに、どうしようもなく「浮いている」感が出てきていましたが、尊敬する先輩から頂いたアドバイス「迷ったら、飛び込め！」を忠実に守ることにしました。新自由主義はびこる日本の未来を知るために、南米のアルゼンチンやベネズエラにバックパッカーとして1か月滞在したこともありまし。学生生活終盤には、医学部カリキュラムの改善活動に励みまし。2007年11月に学生大会や、医学部長を始めとする教育関係者と学生とのシンポジウムが行われ、よりよい医学部にしていくために「対話の場」というイベントを、継続的に実施していくことになりまし。先駆的な医学部カリキュラムに学ぶということで、当時のカリスマ教授藤崎和彦先生(岐阜大)に来崎いただき、講演してもらったことがありまし。活動すれば、様々な出会いや学びがあります。時には、奇異に見られることや、意見の違いで、人間関係に苦しむこともあるかもしれませ。私自身は、「学生の身分で

んだっただんだ！」と一つのネタとして読んでもらえたらと思います。

## ● 大学ならではの出会いと学び

大学に入学すると、一般教養の2年間が始まりまし。自主的に興味のあるゼミや講義を選べるというわけでなく、高校時代と同様の「与えられる授業」でした。しかし、私は長崎民医連の医学生担当の方を通して、学生の自主的な学びを支援するサークル「カステラmates(長崎医ゼミに行く会)」と出会いました。このサークル活動を中心に、私は、1年生の時に信州大学で開催された第46回医ゼミ(全国医学生ゼミナール)に参加したことを皮切りに第51回の群馬医ゼミまで6年間皆勤でした。医学部の講義は、学ばなければいけない知識だけでカリキュラムが埋まってしまうほど多くありまし。それだけに、自分自身の関心のある医療テーマ(離島医療やメンタルヘルスなど)を、フィールドワーク(炭鉱跡見学や患者さんのお話を聞くなど)をしながら、仲間と共に学ぶ経験は何物にも代えがたいものでした。



ある学業で失敗する  
と、「いろんなこと  
に首にツツコンでいるから  
だ」と、学友に侮蔑される  
という危機感に囚われて、孤独を感じることありまし。15年経過した今も、ご迷惑をおかけして足を向けて寝られない方や、感謝してもしきれない方がたくさんいます。とはいえ、そうした出会い、学生時代の経験は宝物であり、「眩しすぎて、易々と振り返れない」ほど学生時代を堪能しきたと思ひます。  
最後に、学生の皆さんへのメッセージです。ぜひ今この時を精一杯生きてください。本当に時間は有限です。私の場合、医ゼミに行くことで、人生の窓が広がりましたので、とてもおススメです。

## ● 薬害肝炎訴訟支援など社会的な活動

私は大阪民医連の奨学生でもあったので、多くの方々の助言や支援を頂きながら、カステラmatesの活動を楽しんでいたわけですが、2004年12月に、長崎で薬害肝炎九州訴訟を戦う福田衣里子さんと出会いました。同世代の彼女の境遇や、「薬害」という医療に関わるテーマでもあったので、カステラmatesのメンバーが中心になって、医学部の同級生に呼びかけ、長崎中央橋でピラ配りを行いました。また、原告の方々に応援するため、福岡地裁へ裁判傍聴に駆けつけたこともありまし。テレビの取材も受けまし。『君たちのような医学生がやっているから意義があるんです』という取材クルーのコメントに、「学生だからこそ、社会に働きかける意義もあるんだな」とハツとさせられたことを今でも覚えていま



右から2番目が筆者

## なにわの医療道場「こんなコト聞きたい」大募集!

なにわの医療道場では、テーマを変えて医師を目指す方たちへメッセージを掲載しています。技術的なことだけでなく、「医師にとっての志」「社会の中での医師の役割」など、テーマは多数。取り上げてほしいテーマなどございましたら大阪民医連までご連絡ください。

大阪民主医療機関連合会 (大阪民医連)  
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階  
TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977  
E-mail: igakusei@oskmin.com



公益財団法人 ファミリークリニックなごみ  
〒532-0031  
大阪市淀川区加島4-2-17  
TEL: 06-6300-5517  
Mail: nagomi@yodokyo.or.jp  
HPはQRコードから



## 基本を大切に自分を信じて 地道な努力で目標達成!

夢をあきらめないあなたへ 先輩からの応援メッセージ!!

私はこの度、滋賀医科大学医学部医学科に合格しました。高1からの民医連での活動や受験勉強についてお話しします。

民医連との出会いは中学・高校の先輩から紹介していただいたことがきっかけです。高2からは新型コロナウイルスの影響でオンラインでの活動となり、参加させていただく機会が減りましたが、高1の時には講演会や医師体験に沢山参加させていただきました。そこで医師という職業の意義や責任の重さ、何よりも人の命を救う尊い職業であることを強く実感出来ました。更に様々な活動を通して、自分の理想の医師像というものも確立されていきました。具体的な目標ができると、自分の将来や医療について考える際の大きな基盤となり、モチベーション向上にも繋がると思います。

又、医学生とのしゃべり場もとても有意義でした。現役の医学生に勉強方法の相談や学生生活を聞かせていただくことはモチベーション維持にも大いに繋がったと思います。是非皆さん、参加して医学生とお話ししてみてください。

受験勉強に於いて頑張っても中々上手くいかないことは誰にでもあります。諦めず、やると決めたことを継続してやり抜けば、結果は必ずついてきます。基本を大切に自分を信じて地道に努力を重ねていけば、目標は達成出来ると思います。



今、幼い頃からの夢であった医師に大きく近づくことが出来、嬉しいです。大学では高校までとは異なり、世界が大きく広がり、今まで出来なかった活動や体験が出来ます。更に愉快でバラエティー豊かな仲間たちとも出会うことが出来、日々、充実しています。

皆さんが第一志望の進路に進まれることを心より願っています。応援しています。

滋賀医科大学  
かもと りんこ  
賀本琳湖 (大谷高校出身)

申し込み  
方法

医師体験



イベント



または

大阪医学生・研修医ドットコム 検索  
<http://www.oskmin-igakusei.com/>

医学部をめざす

## 高校生・受験生のみなさんへ 未来の医師を応援



### 医師体験

日曜・祝日などを除く診療を行っている日であれば、いつでも受け入れを行っています(土曜日は要相談、年末年始は診療を行っていないため受け入れ不可)。日本各地にある民医連加盟の病院や診療所で医師体験を実施しています。お近くの事業所をご紹介しますのでお気軽にご相談ください。医師体験では医師との懇談や診察見学、病院・診療所の検査機器などの見学やオペ室見学、時にはカンファレンスに参加したり、訪問診療で患者さんのお家に伺ったり、あまり見ることのない医師の働き方を知ることができます。また、介護施設などの福祉施設見学もできますので、事前に興味のあることを教えてください。  
※現在は東大阪生協病院と一部の診療所で感染対策を徹底した上でおこなっております。

### 医学生としゃべり場

6月と10月に開催しています。様々な大学の医学生に受験時の悩みや勉強の仕方、予備校の選び方等ざくばらんにお話しすることができます。時には保護者の方の悩みにもこたえてもらうことも。医師の講演会もありますので医学生と一緒に学べる企画です。しゃべり場に協力してくれる医学生ボランティアも募集中!  
※現在はオンラインで随時おこなっております。



医学部受験には避けて通れない、医療倫理の分野から「安楽死」や「セクシャルマイノリティ」などをテーマに学習と交流を行っています。教材から、「患者の立場ならどう思いますか?」「家族の立場なら?」「お医者さんの立場なら?」と、様々な立場での視点でディスカッションをします。自分の意見をしっかり伝え、相手の意見も尊重し、医師と一緒に、多様な意見があることを学びます。医師や医学生との交流もしっかりできます。  
※現在はオンラインでおこなっております。



### 医療・倫理 セミナー

### 医師講演会



今年は医師講演会を夏に合計4回オンラインで行いました。コロナ禍での医療現場のリアルや若手医師から医師を目指したきっかけややりがいなどを講演してもらいました。オンラインなどで気軽に参加できます。また関西以外の高校生も多数参加してくれました。今後もオンラインをフル活用して開催していきます。



推薦入試とセンター試験後の時期に開催。「面接とは?」のレクチャーの後、医師と管理職のプロの面接官を前に面接を行います。志望大学の過去の面接内容を質問項目にあげ、面接後はフィードバックを行います。交流会では参加者や医師との交流も行います。

### 模擬面接会

※現在はオンラインでおこなっております。

その他、合格おめでとう会 & 入学前実習や  
さまざまなボランティア活動もやっています!!

耳原総合病院 松本悠佑

(奈良学園高校出身)

YUSUKE MATSUMOTO

みなさんこんにちは。耳原総合病院2年目研修医の松本悠佑です。研修1年目は仕事を覚えることを頑張っていたらあっとい間に過ぎてしまいました。医局のデスクの位置も変わり、先輩がやってきました。自分のみつともない姿をみられまいと、気が引き締められます。ここから少し暗い話をします。私は再受験生で、医学部に入る前に保健学科で臨床検査技師になるための勉強をしていました。その在学時に父が胃癌を発病し、約2年半の闘病の末亡くなりました。これが、私が医師を志すきっかけになったわけです。父のように発見が遅れてしまう人が少なくなつて欲しい、自分が治せるものならば治せる力が欲しいと思いました。今、私は内科ローテ中です。右も左も分からなかった昨年4月から比較すると、病棟業務にも少しずつ慣れ、患者さんごとに病態変化から診察・検査・治療方針などを組み立てる力がついてきているのかなと思います。そんな最中、呼吸器の急性疾患で心



松本悠佑 PROFILE

●2021年近畿大学卒業。  
耳原総合病院で初期研修中。

不全を発症し、残念ながら亡くなられた方がいました。そこで難しく感じたのは、亡くなる可能性が高い患者の説明、特に急性変化で病態が悪くなる方・そのご家族への「bad news」の伝え方、そして自分の気持ちの整理のつけ方です。命が助からないかもしれないことを伝えたいシビアな場面では本人もご家族も気が動転しています。いかに要点をまとめ、理解度に合わせ話をするかは本当に難しいものでした。日頃からその方をしっかりと把握していなければ、説明はとてもできなかったように思います。無事説明する

こと自体はできましたが、残念ながら亡くなられました。指導医の先生からフィードバックをいただき、「やれることはやってたよ」と言っていたのですが、もっとできたことはなかったのか、ターニングポイントはなかったか、葛藤する日々です。この経験を次へ活かすべく、日々勉強を続けたいと思います。

近畿大学医学部4年生 吉川真理子

(四天王寺高校出身)

MARIKO YOSHIKAWA

初めまして、近畿大学医学部医学科4年生の吉川真理子です。私は、この度学生連絡会(学連)という自治会のような組織で会長を務めさせていただいています。今回このような機会をいただきましたので、学連の活動についてお話しさせていただければと思います。まず、学生連絡会の目的は、学生の要望を実現し、学生生活の更なる向上です。その目的のため、学生の意見を集め、解決を考え、学校側に提案しています。学生の意見を募集する際は、さまざまな意見が集められるように、Google Formを使用し、定期的な学生アンケートを行っています。学連は、学校に正式に認められた組織であるため、学校側にただ提案を行うのではなく、直接、先生にお伝えし、要望や問題の解決を行っています。次に、学連の大きな取り組みとして、学生大会があります。学生大会は、学生全員が参加することができ、学生の要望の紹介やそれらの要望に対する回答を直接先生からいただいたり、さまざまな議論に関して投票を行ったりしています。普段、学生と先生の交流の場は少ないた

め、このような機会を設けることができるのは貴重だと感じています。そして、学連では、コロナ禍以降、不安な学生生活を送る新入生たちに対して、SNSを用いてサポートしていました。現在でも、学生の質問に回答する他、学連の活動について発信しています。また、学連は医学連(全国の医学部自治会の連合)に参加し、他大学との交流を行っています。医学連では、他大学の活動を知ることができ、近大内での問題解決に役立てています。先輩方の活動も含め、さまざまな改善が行われました。テストの過去問・解答・

近畿大学も加盟している医学連の説明は、以下のQRコードからチェックしてください。



解説の掲載、実習着(白衣)の変更、近畿大学同窓会(輝近会)のご協力によりカードリーダーの導入などがなされてきました。このように、学連は学生主体の学生生活の向上のため活動を行っています。これからも学生と大学のかけはしとなるよう、活動していきます。



国試対策にも役立つ  
なるほど道場

国試対策も役立つ問題を3問出題します。正解者の中から抽選で10名様に「Quoカード1000円分」をプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。クイズの正解は次号で発表します。

締め切り 2022年12月14日(水)

今回の出題

Q1 胸痛の"5 killer chest pain"に含まれないのは次のうちどれでしょう？

- a 急性心筋梗塞
- b 肺塞栓症
- c 自然気胸

Q2 肺塞栓症で見られるエコー所見は次のうちどれでしょう？

- a 右心負荷
- b 左心負荷
- c 左室壁運動低下

Q3 肺塞栓症で見られない心電図変化は次のうちどれでしょう？

- a QT延長
- b III誘導でQ波と陰性T波
- c 右脚ブロック

出題して下さる先生

ふるかわ ともい  
古川 智偉

(熊本マリスト学園高校出身)  
PROFILE ● 2021年長崎大学卒業。耳原総合病院にて初期研修中。



応募方法

応募締め切り：2022年12月14日(水) E-mail送り先：igakusei@oskmin.com 「なるほど道場」プレゼント係  
応募方法：①～③までの答えを明記し「お名前」「ご住所」「電話番号」「大学名・学年」「取り上げてほしい記事」を記入し、左のE-mailアドレスまで送信するか同封のはがきにご記入のうえ下記住所までお送りください。ご不明な点は下記までお問い合わせください。

● 大阪民主医療機関連合会 (大阪民医連)  
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階 TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977

No.77の答え Q1. a Q2. c Q3. a

皆さんに当会の取り組みを知ってもらうために担当スタッフが様々な記事を絶賛配信中です。イベントや病院見学など、みなさんにも有益なお知らせを散りばめています。気に入った記事があったら、ぜひみなさんの「ええやん!」をお願いします。



@osaka.miniren.igakusei



@oskmin\_igakusei



http://www.oskmin-igakusei.com/



のなかつき  
野中 逸希  
和歌山県立医科大学1年(開智高校出身)

和歌山医ゼミに参加する会  
みかんの会

こんにちは！和歌山医ゼミに参加する会みかんの会の野中逸希です。

今年の医ゼミの主管校に和歌山県立医科大学が選ばれてから、本番に向けて様々な準備を進めてきました。今回は、みかんの会での取り組みや本番の内容の一部紹介させていただきたいと思います。

まず、みかんの会では週に一度、定例会を開いています。各自が持ち寄ったテーマについて議論し、学習を深めています。また、各地の学習会や地元のボランティアなどにも参加しています。



初めての対面企画

次に、本番の内容の一部をご紹介します前に、医ゼミをご存じでない方のために、医ゼミとは何かご説明します。医ゼミは『全国医学生ゼミナール』の略称で、毎年夏に全国各地の医学生や医療系学生が集まり、学習や交流を行う企画です。この医ゼミの大きな特徴は、学生がすべて企画・運営をしている、ということです。まさに、“学生の、学生による、学生のための”企画なのです。

今年の医ゼミは、和歌山での現地開催を目標に準備を進めていますが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、オンラインとの併用も視

野に入れていきます。

医ゼミは、メイン企画と平和企画という二つの企画を中心に構成されています。今年のメイン企画では、子供が抱える問題や権利について取りあげたいと考えています。平和企画では、今日のウクライナ情勢をもとに戦争や紛争につ

いて考え、医療従事者としてあるべき支援や立場について議論したいと考えています。どちらの企画も、講演を聴いたり文献を調べたりすることで得られる学びにとどまらず、自らが体験することで学びが得られるような内容作りを目指しています。

その他、医ゼミ本番に向けて定期的に全国準備委員会(以下、全準)を催しています。全準では全国の参加者の意見を聴いたり、講師を招いて全体で学習を深めたりしています。本番の雰囲気や医ゼミの良さを事前に味わうことができるので、全準は医ゼミ初参加の方にもおすすめの企画です。

全国の学生の皆さん、今年の夏は医ゼミに参加してみませんか？



みかんの会キャラクター  
うみかん2代目